

特定非営利活動法人 きずな

設立趣旨書

1 趣旨

～幼児体育を通じて、子どもの健やかな発育と親子の強いきずなを～

最近の子どもは集中力がない、飽きっぽい、傾向があります。子どもの基礎体力が落ちていることが一因と考えられます。基礎体力は健康面や学習面において、子どもの力を伸ばす大切な要素です。また、集団で体を動かすことを通じて、成長の過程で周りの人と協調性を持って行動できる力を付け、自律的な行動がとれることにも役立ちます。

社会でも家庭でも人間関係が希薄になる中で、親子の絆が希薄になっている傾向にあります。親子でふれあいながら、楽しく体を動かせる場、その機会を持つことで、子どもの基礎体力の低下を防ぎ、親子の絆を構築する必要があります。

子どもは大人の、そして社会の写し絵であり、合わせ鏡です。子ども達の様々な現象は、大人の生き方や社会のあり方への問題提起です。私たちは、幼児体育を通じて、子ども達の健やかな発育と親子の絆を見直して、長期的な視野で子どもが健全に育つ社会を再構築することを目指したいと思います。

これらを実現するために私たちがしなくてはならないことは、

- * 幼児体育を通じて子どもの健やかな成長をはぐくむこと。
- * 親子が体操やふれあいを通じて絆を高め、大人も子どもも共に成長する仕組みをつくる。
- * 子どもの育ちを親子、社会が支え、喜びあえる地域社会を形成すること。
- * 上記のための支援のしくみづくりを行うこと。

これらを実現するために特定非営利活動法人きずなは、関係各団体、市民、専門家などと幅広いネットワークを形成すると同時に子どもの成長に係わる書機関、行政、企業、市民とも連携しながら、事業を進めていきます。